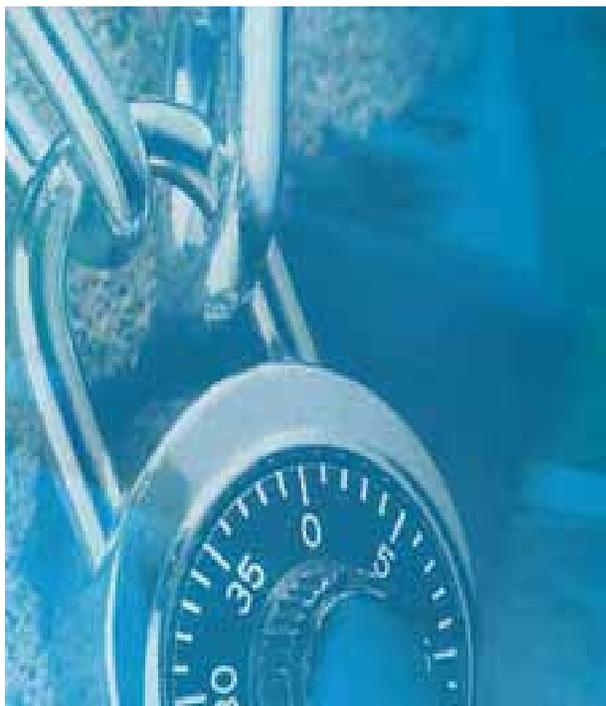


情報犯罪対策レポート



2005年2月発表
特定非営利活動法人
日本情報安全管理協会



あなたの個人情報は本当に大丈夫？

近年、情報から引き起こされる犯罪が急増しています。個人情報保護法も完全施行し、個人情報の管理に関して、行政・企業にその責任が問われる時代となりました。その一方で、個人レベルでの個人情報に関する管理の認識は残念ながら、先進国の中でも高いとはいえません。

このような状況に対し、個人レベルでの個人情報(個人生活情報、プライバシー情報)の管理意識を高めるべく、当協会と致しましても、個人情報・個人生活情報から引き起こされる犯罪について研究を進めると共に、減犯のために情報犯罪対策レポートとして、ここに発表致します。

日頃から気をつけましょう

ご存知ですか？私たちの暮らしの中には、さまざまな方法であなたの大事な個人情報(個人生活情報)を盗もうとしている悪い人たちがいます。

例えば、あなたの誕生日、電話番号、旅行の予定、暗証番号、パスワード、家族構成など犯罪に使われてもおかしくないような情報が、日常生活の中でも意外なところから漏れています。

一番大切なのは、その情報がどのような犯罪に使われる可能性があるのかをきちんと考えることです。

例えば、いまあなたが電話で話している「旅行に行く」という情報が誰かに聞かれていたらどうでしょうか？
もし万が一、聴いているのが空き巣の常習犯だったら…。

大事な情報をあなた自身がきちんと守れるように心掛けてください。

個人情報漏洩ルート

盗聴

素人でも簡単に購入できます。どこにでも仕掛けられるので注意が必要です。

アンケート

安易にアンケートに協力していませんか？

表札

表札から家族構成がわかります。女性の一人暮らしは特に注意が必要。

生活ゴミ

家庭から出るゴミは情報の宝庫です。

コードレス電話の傍受

コードレス電話は第3者が簡単に聴くことができます。

盗視（盗み見）

あなたの横にいる人は善人ですか？悪人ですか？

盗撮

0.7ミリのレンズがあなたを狙っています。

明細書

銀行の取引明細はきちんと破棄しましょう！

会員登録

会員登録の際に記入するあなたの個人情報、生活情報は、さまざまな場所へ流用される恐れがあります。

日常生活

あなたの大事な個人情報

個人情報から引き起こされる犯罪

振込め (オレオレ) 詐欺

高齢者の自宅に、「おれだよ、おれ」と息子や孫を装って電話をかけ、「車をぶつけた」「会社の借金を返さなくてはならない」などという理由をつけては金をだまし取るというもの。

高齢者の個人情報が利用されている。

架空請求

身に覚えのない請求書を送りつけ、それにより、金銭を振り込ませる手口です。これはまさに、個人情報の名簿等が使われている犯罪であるといえます。

自分の知らない間に名簿等が流れていることもあるので、くれぐれも用心することが必要。

脅迫

企業に関しては、機密情報。個人に対しても、本人の弱みの部分の情報を盗まれる事によって、脅迫につながることもあります。

特に社会的地位の高い人や、企業でのキーパーソンなどが狙われやすい傾向にあります。しかしながら、現代では、一般の人でもこのような事例があげられています。

スキミング

キャッシュカード、クレジットカードなどの情報だけを抜き取り、偽造カードを作成し、不正に金銭を引き出す犯罪。

個人情報(暗証番号)が利用されている。

フィッシング詐欺

金融機関などを装い、暗証番号、口座番号を騙し取る手口として近年増加している。

米国では被害額は大きい。

なりすまし

ネットワークに対して、ID、パスワード等の個人情報を利用し、不正アクセスする犯罪である。

犯人を特定するのが困難とされている。

ストーカー

氏名、年齢、電話番号、性別、メールアドレス、誕生日等、ストーカーが利用したい個人情報はたくさんあります。ターゲットの趣味趣向などを含めあらゆる情報が狙われる恐れがあります。

ゆすり・たかり

スキャンダルなどの個人情報を手に入れることによって、その弱みに付け込んで、ゆすり・たかりなどの犯罪につながります。特に社会的地位の高い人や、企業でのキーパーソンなどが狙われやすい傾向にあります。

あなたの大事な個人情報

住所、氏名、年齢、電話番号、性別、メールアドレス、携帯電話番号、誕生日、暗証番号、カードナンバー、車のナンバー、プライベート情報、家族構成、不在予定情報、ID、パスワード

空き巣・強盗

空き巣などは、不在状況の情報を得た場合、ゆっくり仕事をする事ができるでしょう。意外なところから旅行の情報などは漏洩するものです。

逆に、空き巣に入られて何も取られなかった場合は、盗聴器等が仕掛けられている場合があるので特に注意が必要です。